



人が環境をつくり 環境が人を育てる

学校環境緑化コンクール現地審査



10月3日(木)に熊本市学校環境緑化コンクール現地審査がありました。

今回のコンクールは、1学期から緑化委員会と中庭掃除の皆さんが連携・協力して取り組んできた「わくわく学級花壇コンクール」の現地審査を中心に行われました。

この学級花壇コンクールは、緑化委員会の皆さんと共にクラスからの希望者の皆さんが、昼休みから土の耕し、草花の選定・植栽、それに花壇への水やりを自主的に朝・昼休み・放課後の時間に行う姿がありました。酷暑を過ぎた今の時期にも全ての学級花壇がきれいな草花で咲き誇っています。ありがとうございました。

審査会では、緑化委員会の一丸 梓さん(2-3)、鶴田 燈さん(2-4)、池田 涼さん(2-6)が、北部中の四季・持続可能な緑化活動・緑化委員会の取組等をプレゼン発表しました。

審査員の皆さんから、生徒の皆さんが主体的に緑化環境づくりを取り組みながら、安心・安全な学校づくりを推進していることを高く評価していただきました。

また、JRC部が校内に咲く花を瓶に生けてトイレ等に飾ってくれている取組や美術部が昇降口に緑化啓発のシンボルパネルの作成等、環境整備の充実にも高い評価をいただきました。

北部中は、「人が環境をつくり、環境が人を育てる」の考えをもって、きれいで整備された学校の中で、自分を磨いていってほしいです。

取り組んでくれた皆様に感謝申し上げます。



人と人の絆づくり ~イベントの開催を通して~

10月1日(火)のオンライン朝講話は、文化委員長の酒井聖夏さん(3-6)と北部公民館社協主事の永山 健さんにイベントを通じた人と人の絆づくりについて話をいただきました。

酒井文化委員長は、「北部文化の日に向けて、各クラス・合唱団では、協力を大事にすること。人任せにせず、一人一人が責任と自覚をもって取り組むこと。」の話がありました。

永山社協主事は、「ふれあいフェス inHOKUBUが、北部町の熊本市合併時期から校区の絆づくりとして30年以上行っている伝統行事である。」等の話がありました。

皆さんの感想には、「行事が成功するために、頑張っている人への感謝の気持ちを大事にしたい。」等のうれしい感想がたくさんありました。

出合いに感謝 (教育実習生の活動)



9月20日(金)から10月4日(金)までの約2週間、国語(2-3)と理科(3-2)の教育実習生2人が本校で授業を中心に活動を行いました。

2人の教育実習生から、「北部中生のみなさんは、優しく協力してくれる人ばかりでした。」等の感想をいただきました。お互いに出合いに感謝の気持ちで、楽しく過ごせましたね。2人の先生は、将来の教育実践に生かしてほしいです。(お疲れ様でした!)